

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月14日更新

事務事業名	小中学校施設維持管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智
	施策	9 義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	中山 大志
	施策の柱	36 義務教育施設の整備	所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目	会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10727 他	根拠法令 なし
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	校舎施設を維持し、教育環境を良好な状態に維持するために開始された。
【業務の流れ】	小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持する。
【主な予算費目】	需用費(施設修繕費)、役務費、委託料、原材料費
【意見や要望】	校舎建築後、年数が経過すればするほど、施設の不具合の発生率は高まるため、施設修繕の要望は増加傾向にある。特にエアコンや給食設備の不具合は緊急性が高く費用も高額になりがちである。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	小中学校施設を維持管理(軽微な修繕、除草作業、陸屋根清掃他)することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持した。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 → ア: 小学校における施設修繕件数 イ: 中学校における施設修繕件数	予算の主な増減の理由 施設の老朽化に伴う需用費(施設修繕費)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	小中学校	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 小学校数 校 イ: 中学校数 校
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	小中学校施設を維持管理することにより、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持し、児童生徒に支障なく教育を受けてもらう。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 学校の環境が良好であると感じる児童の割合 % イ: 学校の環境が良好であると感じる生徒の割合 %
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
教育活動を進めて行くには施設を維持管理し良好な状態に保つことが必要である。		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	31年度	2年度	3年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件	204	195	220	114	230	240	250	260
	イ 件	124	103	140	84	150	160	170	180
② 対象指標	ア 校	7	7	8	8	8	8	8	8
	イ 校	3	3	4	4	4	4	4	4
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %	100	100	100	100	100	100	100	100
投資入費量	国庫支出金	千円		118					
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円			1	1	1	1	1
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	17,664	19,042	19,536	18,245	23,428	29,000	31,000
	(A) 事業費計	千円	17,664	19,160	19,537	18,245	23,429	29,001	31,001
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	3	3	2	3	3	3
延べ業務時間	時間	150	150	150	200	150	150	150	
(B) 人件費計	千円	594	591	597	782	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	18,258	19,751	20,134	19,027	23,429	29,001	31,001	33,001

事務事業名	小中学校施設維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 計画的かつ緊急性に応じて必要最小限の施設維持管理を行う
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 学校施設の維持管理の事業であり、成果の向上余地はない。現状を維持していくためには、事業の継続が必要である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 修繕等が必要な箇所は、対応しなければ円滑な学校運営に支障が出るもののため、事業費の削減余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校施設の維持管理であり、一部の受益者にかたよるものではない。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 小中学校の施設維持の費用であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

小中学校施設の適切な維持管理を行い、その機能を良好な状態に保ち、効率的で安全な教育環境を維持する。修繕等、必要に応じて計画的に整備を行う必要がある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>現状維持だが、老朽化に伴いコストは増加傾向にある</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						